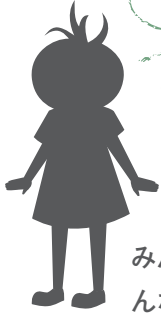


ジャン・ミノコの

The agricultural lecture
by Jan Minoco



にしみの 農業ドリル

みんな元気？私はおいしいイチゴをたくさん食べているから、とても元気だよ！今回は、甘くておいしいイチゴがど
んなところで作られているのか調べるために、養老町に行ってきましたよ。

あま 甘くておいしい！イチゴはどんなところで作られているの？

イチゴはどこで作られて、いつ出荷されているの？

- 管内では、養老町その他、海津市や輪之内町、大垣市で栽培されているよ。
- イチゴは、ビニールハウスの中で育てられているんだ。



- 11月下旬から翌年の5月まで、市場へ出荷されるよ。

イチゴの出荷と同じ時期に、次の年に植えるイチゴの苗作りも行っているよ。安部さんのところに行ったときは、植えるイチゴの苗のもとになる「親苗」があったよ。ここから、つるを伸ばして「子苗」を増やして、翌年の定植の準備をするんだって。



(撮影:12月中旬)

私は50年前からイチゴを作っています。現在は、10アールのハウスで「濃姫」という品種のイチゴを作っているんだ。



おし 教えてくれるのは…

池辺いちご組合 安部 毅 さん

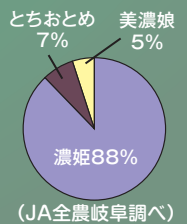
私たちの組合では、13人の組合員が1.6%のハウスでイチゴを作っています。

みんなも、おいしいイチゴをたくさん食べて、元気に冬を過ごそう♪



どんな種類のイチゴを作っているの？

- 管内で作られているのは「濃姫」「美濃娘」「とちおとめ」の3つの品種のイチゴ。
- 管内全体で作られるイチゴの88%は「濃姫」なんだって。



「濃姫」ってどんなイチゴ？

- 「濃姫」は、「アイベリー」という品種のイチゴと「女峰」という品種のイチゴを交配させてできた岐阜県で初めてのオリジナルの品種で、昭和63年に誕生したんだ。
- 名前の由来は、色と味が濃いことと、岐阜県ゆかりの戦国武将・斎藤道三の娘で、後に織田信長の正室になった「濃姫」にちなんで付けられたそうだよ。
- 甘味と酸味のバランスがとても良いイチゴなんだ。

